

令和 5年度
社会福祉法人さざんか会
事業報告統一版

事業所名【 法人全体 】

2023（令和5）年度社会福祉法人さざんか会事業報告

猛威をふるったコロナ感染症も、感染症法上2類から5類へ移行して1年が過ぎました。以前のように皆が集い歓声が上がり、飲食をともにしたり物見遊山に興じたりの様は、首を長くして待っていた光景でした。

こうして、明るい暮らしが戻った反面、私たちの暮らしは継続する物価高に翻弄され気味です。異常気象や世界各地の戦乱、円安などの影響はこれからの暮らしにどのように影響するのでしょうか。

3年毎の報酬改定を終え、新年度は始まりましたがさざんか会は果たすべき責務を再確認し、その完遂を期すばかりです。

1. コロナ禍、3年の経過。

散発的に関係者の感染が報告されるが、どのケースも大事には至らず、経過を見ながら確実に復帰に向かう。感染禍に対する過去の心痛の度合いが嘘のようでもある。

私たちは今度の新型コロナの感染、その世界的な流行から沢山のことを学んだ。約1世紀前のスペイン風邪によるパンデミックは、今日でも蘇るのであり、これから先も起こり得るのである。自然災害などに備えるとともに、感染症への防備も怠ることはできない。

2. 各種研修への積極参加。

リモート活用の研修が専らであったものが、対面での研修も復活し、学びの機会が多様となった。各事業所ともに研修機会の増加が図られ、職員各位のスキル向上に効果に期待の次第である。

特に、この仕事に初めて就く人には通信制の講座を受講してもらい、イロハのイの字から学んでいただく。職員各位の経験や伴う職務や職責に適応した研修の場を設けることも意識したい。社会全般に変化激しい今日、その中にある障がい福祉を理解し課題に向かうため、管理者レベルの研修機会も必須である。

3. 高齢・重度化への対応。

年間を通じて標記課題について、入所施設やグループホームそして通所施設管理者を中心に意見を交換して来た。現在の各々の役割や機能、そして抱える課題など。具体的な対応策となると、より慎重な姿勢が見られる。事業を拡大して対応を考えるならば、新たな人材の確保は必須であり、ニーズを満たすだけの質と量は大丈夫か？

現事業を統廃合しながらの対応で、なるべく現体制で賄える策はないものか、などなど。更に、意見を深化させなければならない

4.「魔法のランプ」の再開及び活用。

2年前に事業を休止とし、再開を期した次第であったが有効な手筈を整えることなく、ずるずると休止期間が過ぎてきた。行政からは徒に休止とするのではなく、このまま推移してしまうのであれば、事業の廃止を届けるように、との指導を受けてしまう。

ならばと、再開の目処を立てることもできず、再開を心待ちにしている皆様には期待を裏切ることとなってしまう、心からお詫びを申し上げなければならない。

障害のある方にとって、地域生活を送るに必須のサービスであるランプで展開した事業を決して忘れてはならないし、いつの日か必ず再開しなければならない。

5.事業の将来展望(見通し)について。

さざんか会が展開する各種事業について、開始当時とは当然その様相が変化する。何より、利用者各位が高齢に向かい身体的にも精神的にもより細やかな配慮や環境の設定が必要となる。入所支援施設を見れば、昼間の活動への参加も体調次第、以前と同じ活動は厳しい人たちも多く見られる。これは、グループ入居者にしても然りである。ここに医療的ケアが加わり、その障がいにより重篤な様相を来たしたとき、どこまでいつまで私たちの用意するサーはビスで賄えるものか、心許なく感じることも事実である。

質的にそして量的に、今ある事業を再編して行かなければならない。例えば、グループホームで毎週末帰宅の叶った人もご家族の高齢化により、それが叶わなくなっている現実があったり、ショートステイのニーズが確実に高まったり…。

慢性的に人手が不足しており、あれもこれもと手立てを整えるに難しいことを承知しながらも、可能な限りお一人おひとりにより相応しい支援の環境を用意したい。そのために、現状及び課題の認識について年間を通して、共通理解の機会を設けた次第であった。

2. 各種会議の開催などについて

No.	会 議 名	開催回数	開 催 日 時
1	理事会	6	5/26・6/12・10/27・12/8・1/26・3/22
2	評議員会	4	6/12・11/10・2/2・3/29
3	全体施設長会議	13	4/28・5/8・5/18・6/30・7/27・8/25・ 9/29・10/27・11/24・12/22・1/25・2/2・ 2/22・3/29
4	船橋圏内施設長会議	3	1/6・2/2・2/14
5	船橋圏内サービス管理責任者(児童発達線管理責任者)会議	4	5/9・8/8・11/14・2/13
6	船橋圏内サービス向上(虐待防止)委員会	12	4/21・5/19・6/16・7/28・8/18・9/29・ 10/13・11/17・12/1・1/12・2/16・3/22
7	権利擁護・虐待防止/ 身体拘束適正化委員会	1	4/28
8	法人全体事務職会議	2	6/26・2/29
9	船橋圏内全体職員研修(権利擁護・ 虐待防止/身体拘束適正化)	2	11/25・1/28
10	船橋圏内新人職員研修	2	6/5・9/12
11	船橋圏内2年目職員研修	2	7/20・9/26
12	「船橋市てをつなぐ育成会」との意見交換会	2	7/28・1/26
13	法人機関紙「おーぱん」発行 年3回	3	第94(夏)号・第95(秋)号・第96(春)号

※ 2023(令和5)年度 理事会・評議員会開催状況一覧

《 理事会 》

第 回	通知日			開催日			会場 (書面)	議題等	参加者 (書面提出者)
	年	月	日	年	月	日			
第1回 理事会	5	5	1	5	5	20	さざんかキッズ	令和4年度事業報告 令和4年度決算 内部監査報告 諸規程改正 定時評議員会開催 基本財産の処分 理事長執務状況報告	理事 5名 監事 2名
第2回 理事会	5	5	19	5	6	12	さざんかキッズ	理事長選定	理事 6名 監事 2名
第3回 理事会	5	9	25	5	10	27	さざんかキッズ	第1次補正予算 特別勤勉手当支給 規程の改正 第2回評議委員会開催 理事長執務業務報告	理事 6名 監事 2名
第4回 理事会	5	12	1	5	12	8	ZOOM	ゆたか福祉苑での虐待案件	理事 6名 監事 2名
第5回 理事会	5	12	21	6	1	26	さざんかキッズ	第2次補正予算 定款変更 諸規程改正 第3回評議委員会開催 監査及び実地指導報告 魔法のらんが事業廃止	理事 5名 監事 2名
第6回 理事会	6	1	26	6	3	22	さざんかキッズ	第3時補正予算 令和6年度事業計画 令和6年度予算 諸規程改正 北総育成園施設長選任 新評議員の推薦 評議委員会開催 特別昇給	理事 6名 監事 2名

《 評議員会 》

第 回	通知日			開催日			会場 (書面)	議題等	参加者 (書面提出者)
	年	月	日	年	月	日			
第1回 評議員会	5	5	27	5	6	12	さざんかキッズ	令和4年度事業報告 令和4年度決算 内部監査報告 諸規程改正 基本財産の処分 役員選任	評議員 7名 監事 2名
第2回 評議員会	5	10	3	5	11	10	さざんかキッズ	第1次補正予算 特別勤勉手当支給 規程の改正	評議員 6名 監事 2名
第3回 評議員会	6	1	9	6	2	2	さざんかキッズ	第2次補正予算 定款変更 諸規程改正 監査及び実地指導報告 魔法のらんが事業廃止	評議員 6名 監事 2名
第4回 評議員会	6	2	28	6	3	29	さざんかキッズ	第3時補正予算 令和6年度事業計画 令和6年度予算 諸規程改正 新理事選任	評議員 6名 監事 2名

2. 施設等利用者の状況

令和6年3月31日現在

(1) 契約者数

利用事業	入所施設 (北総育成園・のまる)	生活介護 (北総育成園・笹川 なすな工房)	生活介護 (のまる)	生活介護 (けいよう・ゆたか福 祉苑・カメラアハウス)	児童発達支援レ ター(とらのこキッズ ・さざんかキッズ)	就労継続支援B型 (笹川なすな工房)	就労継続支援B型 (カメラアハウス)	グループホーム (DDホームズ ・のまのまホームズ ・野の花)	合計
定員	110	90	40	143	110	20	12	70	595
5年度当初 契約者数	101	81	38	168	93	22	15	67	585
年度内新規 契約者数	2	0	3	1	14	1	0	5	26
年度内 解約者数	1	0	1	7	5	2	1	6	23
年度末 契約者数	102	81	40	162	101	21	14	67	588

(2) 利用率

利用事業	入所施設 (北総育成園・のま る)	生活介護 (北総育成園/笹川 なすな工房)	生活介護 (のまる)	生活介護 (けいよう・ゆたか福 祉苑・カメラアハウス)	児童発達支援レ ター(とらのこキッズ ・さざんかキッズ)	就労継続支援B型 (笹川なすな工房)	就労継続支援B型 (カメラアハウス)	グループホーム (DDホームズ ・のまのまホームズ ・野の花)	合計
年間延契約者数	37,332	22,410	10,800	36,045	27,430	5,400	3,000	25,620	168,037
年間開所日数	365	270	269	250	250	270	250	365	286
年間延利用者数	36,518	21,049	8,637	32,724	20,255	5,463	3,066	21,164	148,876
定員に対する 利用率(%)	91%	87%	80%	92%	74%	101%	102%	83%	87%

(3) 利用者年齢区分

年齢区分	～19	20～29	30～39	40～49	50～	合計
男子	12	41	36	66	108	263
女子	3	19	22	20	53	117
計	15	60	58	86	161	380
構成比率(%)	3.9%	15.8%	15.3%	22.6%	42.4%	100.0%

(4)利用者障害程度(支援)区分 (成人のみ)

区分	区分なし 1	2	3	4	5	6	計	平均区分
男子	11	8	12	42	102	89	264	4.8
女子	7	2	5	13	37	52	116	5.0
計	18	10	17	55	139	141	380	4.9
構成比率(%)	4.7%	2.6%	4.5%	14.5%	36.6%	37.1%	100.0%	

(5)援護市町村区分(令和4年3月31日時点) (全施設対象)

市町村	船橋市	東庄町・銚子市・ 香取市・旭市	県内地	県外	合計
男子	288	26	21	6	341
女子	104	17	15	4	140
計	392	43	36	10	481
構成比率(%)	81%	9%	7%	2%	100%

3. 保護者の状況 (全施設対象)

保護者	親			兄弟姉妹	その他の 親族	その他	身よりなし	合計
	両親	父のみ	母のみ					
男子利用者	201	19	60	38	14	2	6	340
女子利用者	71	9	26	24	9	0	0	139
計	272	28	86	62	23	2	6	479

令和 5年度
社会福祉法人さざんか会
事業報告統一版

事業所名【 けいよう 】

1. 令和 5年度事業活動重点事項及び成果

○ 運営面に関して

・ 昨年度は新規の利用者さんの受け入れはできませんでした。
特別支援学校の卒業生や相談支援事業所からの相談もありましたが、職員体制が整っていない状況だったため断らざるを得ない状況でした。
また、週1日や週2日利用している方の利用日も増やすことができませんでした。

・ 新型コロナウイルスが昨年5月から5類に移行しましたが、感染対策は利用者さんのご家族にも引き続きご協力をお願いしています。
感染に関しても、利用者さん数人の家族内感染はありましたが、事業所内で広がることは無く、運営としての影響はありませんでした。

・ 年度当初から職員体制が整わない状態でのスタートとなりました。
中途採用者もありましたが、年度途中の退職もあり、1年通して職員体制は厳しい状況でした。
その為、利用者さんの安全を考えて、日中活動の行動範囲が狭くなってしまいました。

○ 研修及び職員の取り組み

法人内研修以外の外部研修については、受けることが出来ませんでした。
厳しい状況ではありましたが、経験豊富な職員が揃っていたことで色々な工夫をし、利用者さんの支援に当たってくれました。
怪我等もなく無事に1年を送ることができたと思います。

○ その他

- ・ 職員体制が整わない状況だったため、行事等がほとんど出来ませんでした。

- ・ ご家族には、例年通りご家族の方向けに年に数回ではありますが『ひびき』を発行し事業所での様子をお伝えしてきました。ご家族の方には好評なので今後も継続していきます。

- ・ 新型コロナウイルスの影響で、保護者会を開催していませんでしたが、5類に移行したことにより、5年度は11月と2月に公民館を利用して開催することができました。6年度においてもやはり、けいようの様子を知りたいというご要望が多いことから、回数や場所を検討した上で年に数回の開催をする予定です。

1. 職員体制と人材確保(常勤換算数)*小数点2位四捨五入

	管理者	サビ管等	支援員 保育士 世話人等	派遣職員 (運転手)	看護師	調理員・栄 養士	その他 (運転手・ 事務他)	計
5年度当初								
男子常勤			2					2
男子非常勤			1				6	7
(常勤換算)			1				2.5	3.5
女子常勤	1	1	4					6
女子非常勤			3				1	4
(常勤換算)			1.2				1	2.2
計	1	1	10	0		0	7	19
(常勤換算)			8.2	0	0	0	3.5	13.7
5年度中 増減								
男子常勤								0
男子非常勤			-1					-1
(常勤換算)			1					1
女子常勤			1					1
女子非常勤					1			1
(常勤換算)					0.4			0.4
計	0	0			1	0	0	1
(常勤換算)	0	0	2	0	0.4	0	0	2.4
6年度当初								
男子常勤			1					1
男子非常勤			3				6	9
(常勤換算)			2.3				2.5	4.8
女子常勤	1(サビ管 兼務)		6					7
女子非常勤			4		1		1	6
(常勤換算)			2		0.4		1	3.4
計	1(サビ管 兼務)		14	0	1	0	7	23
(常勤換算)	1		11.3	0	0.4	0	3.5	16.2

※ 非常勤職員、臨時職員、パート職員については常勤換算数を別記する

2. 施設等利用者の状況

(1) 契約者数

利用事業	入所施設	生活介護	児童発達	就労B型	グループホーム	合計
定員		40				40
5年度当初契約者数		38				38
年度内新規契約者数		0				0
年度内解約者数		0				0
年度末契約者数		38				38

(2) 利用率

利用事業	入所施設	生活介護	児童発達	就労B型	グループホーム	合計
年間延契約者数		10000				10000
年間開所日数		250				250
年間延利用者数		7935				7935
定員に対する利用率(%)	#DIV/0!	79%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	79%

(3) 利用者年齢区分(令和6年3月31日現在)

年齢区分	～19	20～29	30～39	40～49	50～	合計
男子		4	6	6	7	23
女子		1	3	5	6	15
計	0	5	9	11	13	38
構成比率(%)	0%	13%	24%	29%	34%	100%

(4)利用者障害程度(支援)区分

区分	区分なし 1	2	3	4	5	6	計	平均区分
男子				5	10	8	23	5.1
女子			1	2	7	5	15	5.1
計	0	0	1	7	17	13	38	5.1
構成比率(%)	0%	0%	3%	18%	45%	34%	100%	

(5)援護市町村区分(令和6年3月31日時点)

市町村	船橋市	東庄町・銚子市・ 香取市・旭市	県内地	県外	合計
男子	23				23
女子	15				15
計	38	0	0	0	38
構成比率(%)	100%	0%	0%	0%	100%

3. 保護者の状況

保護者	親			兄弟姉妹	その他の 親族	その他	身よりなし	合計
	両親	父のみ	母のみ					
男子利用者	13	2	4	3			1	23
女子利用者	7		7	1				15
計	20	2	11	4	0	0	1	38

4・ 職員研修について

(ア) 法人及び事業所内研修

研修会名	対象者	実施日	内容
新任者研修	支援員	6月5日	不適切に繋がる支援者の心理について・ビジネスマナー
新任者研修	支援員	9月12日	アサーショントレーニング
虐待防止研修	支援員	11月25日	講演・グループワーク
虐待防止研修	支援員	1月27日	講演

(イ) 外部団体等主催研修への参加

主催団体名	研修会名	実施日	参加人数	備考
千葉県社会福祉協議会	障害福祉基礎研修	6月6日	1	
千葉県安全運転管理協会	安全運転管理者講習	11月8日	1	

5・ 事故の発生について * 報告事項

No.	発生年月日	事故内容	今後の対応	行政への届け出	備考

令和 5年度
社会福祉法人さざんか会
事業報告統一版

事業所名【 北総育成園 】

1. 令和 5年度事業活動重点事項及び成果

○ 運営面に関して

① 令和5年度も、「働くこと生きること」「役割と出番のある暮らし」の実践を軸とし、個々への丁寧な支援に対応してきました。最高年齢86歳、65歳以上が3割となった利用者さんの健康面や介護面について、24時間365日の入所業務について繰り返し話し合いを行い、整理してきました。

入院は3名(80代誤嚥性肺炎2回・60代肺炎1回・40代脊髄炎5ヶ月)、通院は延べ人数126名・回数は114回と増えています。認知機能の低下・歩行困難な利用者さんが増え、介護・健康管理の業務がますます重要になりました。食事・排泄・移動等の個別支援・衣類や個室管理にも対応してきました。

② 作業活動は、8班に分かれて、平日午前中に活動を行い、皆さん良い表情で参加してくれています。

道の駅などでの販売活動も増え売り上げも伸びました。

余暇活動では、昨年度に引き続き、夏祭りや秋祭りの他、苺狩りや外食・ドライブ等も行い楽しみも増えました。

③ 帰宅は、通院等2名の他、6名が実施できました。保護者もご高齢になり無理はできませんが、電話やZOOMも利用しながらご家族との関わりも大切にしてきました。ご家族の逝去もあり家庭環境が変化することに留意して、丁寧に対応してきました。複数の成年後見人さんの面会も定着してきました。

④ 衛生管理・感染予防にはマニュアルに従って全職員で努力してきました。1月と2月に複数名のコロナ感染者ができましたが、皆軽症で回復しました。衛生講習・衛生管理マニュアル・最新情報を適切に取り入れて、職員の精神衛生にも配慮して、取り組んできました。

⑤ 人材確保については、令和5年4月に新卒1名・施設経験者2名、年度途中で経験者3名を採用出来ました。皆さん熱心に業務に携わってくれています。

今年度は、全職員が外部研修に参加し、実施することが出来ました。

また、人材育成にも積極的に取り組み、意欲とやりがいを持って、楽しく業務に入れる環境・労務管理にも配慮してきました。

○ 研修及び職員の取り組み

別表 参照

(ア) 法人及び事業所内研修

①園内虐待防止権利擁護研修 全職員対象

②4/5 医務講習(口腔ケア・誤嚥対応・排泄ケア他)・防災講習

③職員行動チェックリスト提出 集計して3月に内容を報告 全職員対象

④香取保健所 給食管理者研修 9/1 栄養士1名

⑤千葉県知的障害者福祉協会

・5/24総会(白檜・猪田) ・広報委員会(菅谷)年4回

・11/22支援スタッフ部会(菅谷・米川) ・障害者支援部会研修 他

⑥強度行動障害者支援者研修(基礎6名・実践2名)

⑦香取市相談支援部会 年3回(絵鳩・菅谷)

⑧福祉資格取得支援制度にて

令和5年度国家試験合格 介護福祉士2名(栗橋・山口)

1. 職員体制と人材確保(常勤換算数)*小数点2位四捨五入

	管理者	サビ管等	支援員 保育士 世話人等	派遣職員 (運転手)	看護師	調理員・栄 養士	その他 (運転手・ 事務他)	計
5年度当初								
男子常勤		1	17					18
男子非常勤	1		3					4
(常勤換算)	0.6		1.7					2.3
女子常勤		1	11		1	1	2	16
女子非常勤			10				1	11
(常勤換算)			5				0.6	5.6
計	1	2	41	0	1	1	3	49
(常勤換算)			34.7	0	1	1	2.6	41.9
5年度中 増減								
男子常勤			-1					-1
男子非常勤								0
(常勤換算)								0
女子常勤			2					2
女子非常勤			-1					-1
(常勤換算)								0
計	0	0	0	0	0	0	0	0
(常勤換算)	0	0	1	0	0	0	0	1
6年度当初								
男子常勤		1	16					17
男子非常勤			4					4
(常勤換算)			2.3					2.3
女子常勤	1	(1)兼務	13		1	1	2	18
女子非常勤			9				1	10
(常勤換算)			4.7				0.4	5.1
計	1	(1)兼務	42	0	1	1	3	49
(常勤換算)	1	(1)兼務	36	0	1	1	2.4	42.4

※ 非常勤職員、臨時職員、パート職員については常勤換算数を別記する

2. 施設等利用者の状況

(1) 契約者数

利用事業	入所施設	生活介護	児童発達	就労B型	グループホーム	合計
定員	75	75				150
5年度当初契約者数	67	68				135
年度内新規契約者数	0	0				0
年度内解約者数	0	0				0
年度末契約者数	67	68				135

(2) 利用率

利用事業	入所施設	生活介護	児童発達	就労B型	グループホーム	合計
年間延契約者数	24522	18360				42882
年間開所日数	366	270				636
年間延利用者数	24419	18183				42602
定員に対する利用率(%)	89%	90%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	45%

(3) 利用者年齢区分(令和6年3月31日現在)

年齢区分	~19	20~29	30~39	40~49	50~	合計
男子	0	1	4	4	33	42
女子	0	1	4	4	17	26
計	0	2	8	8	50	68
構成比率(%)	0%	3%	12%	12%	74%	100%

(4)利用者障害程度(支援)区分

区分	区分なし 1	2	3	4	5	6	計	平均区分
男子				1	11	30	42	5.7
女子				0	9	17	26	5.7
計	0	0	0	1	20	47	68	5.7
構成比率(%)	0%	0%	0%	1%	29%	69%	100%	

(5)援護市町村区分(令和6年3月31日時点)

市町村	船橋市	東庄町・銚子市・ 香取市・旭市	県内地	県外	合計
男子	29	5	7	1	42
女子	12	4	6	4	26
計	41	9	13	5	68
構成比率(%)	60%	13%	19%	7%	100%

3. 保護者の状況

保護者	親			兄弟姉妹	その他の 親族	その他	身よりなし	合計
	両親	父のみ	母のみ					
男子利用者	10	5	8	12	7	0	0	42
女子利用者	6	3	3	9	5	0	0	26
計	16	8	11	21	12	0	0	68

4・ 職員研修について

(ア) 法人及び事業所内研修

研修会名	対象者	実施日	内容
医務講習・防災講習	全職員	4月5日	「便秘・排尿障害・口腔ケア」・館内防火設備他
衛生講習	全職員	6月14日	講師 前田看護師 「これからの感染症対策」
職員行動チェックリスト提出	全職員	8月・3月	職員行動チェックリスト自己採点提出・集計配布説明
虐待防止研修	全職員	6月7日・7月19日	虐待防止・権利擁護マニュアルに沿っての研修
身体拘束防止研修	全職員	8月2日・9月27日	身体拘束防止マニュアルに沿っての研修
法人研修	事務員2名	6月21日	法人事務研修
法人施設見学研修	支援員7名	9月6日	理事長のお話し・さざんかキッズ・のまる見学
法人施設見学研修	のべ16名	6/7,21 7/5 8/2 10/25 11/22	笹川なずな工房見学研修
他法人施設見学研修	支援員7名	10月6日	10/6習志野市あかね園 7名
他法人施設見学研修	支援員5名	11月14日	11/14匝瑳市しおさいホーム 5名

(イ) 外部団体等主催研修への参加

主催団体名	研修会名	実施日	参加人数	備考
知的障害者援護施設等機能研究会青年部会事務局	第33回青年部会	4月20日	1	
生活サポート千葉	強度行動障害者支援者養成研修(基礎)	8/29 9/1	3	
千葉県知的障害者福祉協会	施設長県外一泊研修	10月16日 ~17日	1	
生活サポート千葉	強度行動障害者支援者養成研修(実践)	11/7 10	1	
生活サポート千葉	強度行動障害者支援者養成研修(実践)	12/1. 6	3	
千葉県知的障害者福祉協会	自立支援セミナー	1月27日	3	
千葉県知的障害者福祉協会	権利擁護委員会研修	1月29日	1	
生活サポート千葉	強度行動障害者支援者養成研修(実践)	2/20 21	1	
生活サポート千葉	相談支援従事者初任者研修	のべ6日間	2	
生活サポート千葉	相談支援従事者現任研修	のべ6日間	2	

4・ 職員研修について

(イ) 外部団体等主催研修への参加

主催団体名	研修会名	実施日	参加人数	備考
千葉県発達支援センターCAS	強度行動障害のある方の支援に対する研修	3月9日	2	
千葉県知的障害者福祉協会	施設長等一泊研修	3月12日 ~13日	3	

5・ 事故の発生について * 報告事項

No.	発生年月日	事故内容	今後の対応	行政への届け出	備考
1	12月4日	女性利用者転倒による右目の創傷	旭中央病院に緊急受診。 3針縫合	有	

令和 5年度
社会福祉法人さざんか会
事業報告統一版

事業所名【 ゆたか福祉苑 】

1. 令和 5年度事業活動重点事項及び成果

○ 運営面に関して

・ 9月に発覚した、職員による不適切な写真の虐待事案については、被害に遭われた当事者様とそのご家族様には拭いようのない深い傷を負わせ、他の利用者様をはじめ関係者の方がにも、多大なる不快感やご迷惑をおかけしてしまいました。発覚以降、保護者会での説明及び、法人・事業所からの発信文書にて、随時、経緯や経過のご報告に努めてきました。そのような中、11/28の読売新聞への掲載をはじめ、複数メディアにてこの件が報じられ、改めて皆様にショックとご不安を与えてしまうこととなりました。法人内部の調査段階に応じたご報告では、被害を受けた方、並びにそのご家族のプライバシーと心情に配慮した内容でお伝えをしてきました。

管轄行政である船橋市からは、「写真は性的目的や、個人的からかいを意図したものではない」と確認されましたが、利用者様への「心理的虐待に該当する」として改善指導を受けました。

事業所の改善対策としては、

- ・ 個人情報やプライバシーに関するルールの厳格化
- ・ 利用者様の尊厳や、お一人お一人の想いを大切にすること
- ・ 虐待防止研修や権利擁護研修への参加など

利用者様にこれからも安心して過ごしていただける場であるように、努めて参ります。

・ 今年度は、特別支援学校の卒業生3名と県外から船橋市に移られた利用者様1名の計4名が新規契約となりました。

また、年度途中で他の法人の入所施設やグループホームへの入居を機に、5名の方が契約終了となりました。

年度末での利用契約者数は、男性58名、女性30名、合計88名となります。

・ 送迎体制を安定的に維持していくため、マイクロバス及び14人乗りワゴン車の2コースについては、令和5年4月より、ドライバーを外部委託し、新たな送迎体制を確立しました。添乗については、これまで通り支援職員が行い、運行中の安全確保に努めました。

○ 研修及び職員の取り組み

研修については、職員会議日を中心に、オンデマンド動画および管理者による講話等にて、利用者の主体性を重んじた意思決定支援や、虐待防止と身体拘束の防止など、テーマを掲げて実施してきました。

しかし、職員による不適切な写真の虐待事案が発覚したことにより、改めて、人権擁護及び支援職倫理について事業所内研修に取り組み、私たち支援者の立場と役割りを弁えなければならないことを職員間で再認識しました。

○ その他

・ 新型コロナウイルスの感染症分類引き下げ以降も、断続的に新型コロナの集団発生があり、6月に1班の部分休苑、年明け1月には全体休苑および、その週一杯の部分休苑となってしまいました。

インフルエンザについても、10月の同時期に複数名の感染者が発生し、感染力の高さに脅威しましたが、休苑まで至ることなく収束しました。感染症分類の変更にかかわらず感染予防を継続してきましたが、今年度も、目に見えないウイルスに対峙する難しさに苦慮してきました。

・ 行事については、コロナ禍以降控えていた秋まつりを、4年ぶりに開催しました。以前のようにご家族を招いての大がかりな企画ではなく、利用者様のみでの参加となりました。

午前、豊富地区社協から指導員を招いての『健康体操』やたくさんの風船で『風船バレー』を行いました。

朝から来てくれたキッチンカーが、イベントの雰囲気をもより一層高め、お昼は美味しい焼きそば&唐揚げを食べました。

午後からは、大画面と大音量の『青空カラオケ』を開催。ゆたかの歌自慢の利用者様方が、代わるがわるマイクを握っては美声を轟かせ、聴いている方々も皆で一緒に盛り上がった1日でした。

1. 職員体制と人材確保(常勤換算数)*小数点2位四捨五入

	管理者	サビ管等	支援員 保育士 世話人等	派遣職員 (運転手)	看護師	調理員・栄 養士	その他 (運転手・ 事務他)	計
5年度当初								
男子常勤	1		12					13
男子非常勤			4	1			2	7
(常勤換算)			3.4	0.4			0.7	4.5
女子常勤		1	5		1		1	8
女子非常勤			9				1	10
(常勤換算)			8.9				0.4	9.3
計	1	1	30	1	1	0	4	38
(常勤換算)			29.3	0.4	1	0	2.1	34.8
5年度中 増減								
男子常勤			-3					-3
男子非常勤			0	1				1
(常勤換算)			0	0.4				0.4
女子常勤			-2					-2
女子非常勤			2				0	2
(常勤換算)			1.3				0.5	1.8
計	0		-3	1	0	0	0	-2
(常勤換算)	0		-3.7	0.4	0	0	0.5	-2.8
6年度当初								
男子常勤	1		9					10
男子非常勤			3	2			2	7
(常勤換算)			2.5	0.8			0.7	4
女子常勤		1	7		1		1	10
女子非常勤			9				1	10
(常勤換算)			8.2				0.9	9.1
計	1	1	28	2	1	0	4	37
(常勤換算)	1	1	26.7	0.8	1	0	2.6	33.1

※ 非常勤職員、臨時職員、パート職員については常勤換算数を別記する

2. 施設等利用者の状況

(1) 契約者数

利用事業	入所施設	生活介護	児童発達	就労B型	グループホーム	合計
定員		75				75
5年度当初契約者数		92				92
年度内新規契約者数		1				1
年度内解約者数		5				5
年度末契約者数		88				88

(2) 利用率

利用事業	入所施設	生活介護	児童発達	就労B型	グループホーム	合計
年間延契約者数		19045				19045
年間開所日数		250				250
年間延利用者数		16840				16840
定員に対する利用率(%)		90%				90%

(3) 利用者年齢区分(令和6年3月31日現在)

年齢区分	～19	20～29	30～39	40～49	50～	合計
男子	3	7	7	17	24	58
女子		7	5	5	13	30
計	3	14	12	22	37	88
構成比率(%)	3%	16%	14%	25%	42%	100%

(4)利用者障害程度(支援)区分

区分	区分なし 1	2	3	4	5	6	計	平均区分
男子				11	25	22	58	5.2
女子				2	7	21	30	5.6
計	0	0	0	13	32	43	88	5.3
構成比率(%)	0%	0%	0%	15%	36%	49%	100%	

(5)援護市町村区分(令和6年3月31日時点)

市町村	船橋市	東庄町・銚子市・ 香取市・旭市	県内地	県外	合計
男子	55		2	1	58
女子	26		4		30
計	81	0	6	1	88
構成比率(%)	92%	0%	7%	1%	100%

3. 保護者の状況

保護者	親			兄弟姉妹	その他の 親族	その他	身よりなし	合計
	両親	父のみ	母のみ					
男子利用者	35	3	14	4		2		58
女子利用者	16	2	8	3	1			30
計	51	5	22	7	1	2	0	88

4. 職員研修について

(ア) 法人及び事業所内研修

研修会名	対象者	実施日	内容
法人新任職員研修	新任職員	6/5, 9/12	入職からの振り返り、ビジネスマナー、権利擁護・虐待防止、アサーティブコミュニケーション、メンタルヘルス
法人2年目研修	2年目職員	7/20, 9/26	職務についての自己点検、アサーティブコミュニケーション、メンタルヘルス
意思決定支援 障害者虐待について	支援職員	7月29日	オンデマンド動画による意思決定支援および支援者による障害者虐待に関する講義の視聴およびレポート作成
不適切な身体拘束の防止 について	支援職員	R5.10.28	身体拘束および緊急止むを得ない場合の3要件の確認、事例に基づき不適切な身体拘束を防ぐ手立てを考える
ゆたか福祉苑の役割りと 支援者の役割りについて	支援職員	R5.11.25	個人の尊厳と基本的人権について日本国憲法に立ち返って学び直し、ゆたか福祉苑および支援者の役割を確認する
支援職員の役割りとその 立ち位置について	支援職員	R6.1.27	支援職員としての基本的な立ち位置を理解し、『個人の尊重』『利用者主体』等の優先順位を弁えた振舞いや言動を考える
介助の基本事項の確認	支援職員	R6.3.23	声掛け、移動、食事、車椅子操作等の介助の基本に立ち返り、丁寧な支援を心がける
法人虐待防止研修	支援職員	R5.11.25	『施設・事業所における障害児者虐待防止への取り組み』 講師：社会福祉法人フラット 理事長 林 晃弘 氏
法人虐待防止研修	支援職員	R6.1.27	『権利擁護/虐待防止研修』講師：社会福祉法人口ザリオの 聖母会 執行役員 荒井 隆一 氏

(イ) 外部団体等主催研修への参加

主催団体名	研修会名	実施日	参加人数	備考
都通研	意思決定支援から考える障害者の権利擁護	R5.6.13	1	
千葉県知的障害福祉協会	日中活動支援部会	R5.7.4	1	
日本知的障害者福祉協会	全国知的障害関係施設長等会議	R5.7.13・14	1	
千葉県手をつなぐ育成会 うえるかむ権利擁護サポートセンター船橋	合同勉強会 「意思を確認することの大切さ」	R5.9.27	2	

5. 事故の発生について * 報告事項

No.	発生年月日	事故内容	今後の対応	行政への 届け出	備考
1	R5.5.24	昼食後の服薬を忘れ、ご帰宅後にご家族対応にて服薬いただいた	対応者の引継ぎを確実に 行うダブルチェックの手順を再確認	無	
2	R5.9.5	食事中に着かず席を離れてしまう方の誘導中に転倒し、頭部内出血	利用者様のペースを尊重し、 落ち着くまで無理な誘導はせず見守る	無	
3	R5.9.19	散歩時、敷地出入口の門扉レールに躓き転倒し、膝に擦過傷	出入り口付近については、 勾配の緩やかでレールの凹凸が少ない箇所を歩く	無	

令和 5年度
社会福祉法人さざんか会
事業報告統一版

事業所名【 の ま る 】

1. 令和 5年度事業活動重点事項及び成果

○ 運営面に関して

1.施設入所支援

令和5年度もコロナウイルスを含む感染症の罹患リスクを念頭に置いて日々の支援をさせて頂きました。他事業所やのまるでの利用者様・職員の罹患事案に合わせ、保健所の指導内容を実施し感染拡大を防ぐ対策を講じました。人の交差を減らしたりと生活が窮屈になる事を想定をし、車外出や外出先での飲料購入などの気分転換を図り運営を行いました。また、今年から個別外出を再開しました。利用者様と計画を練り・外出先での思い出を共有する事で、楽しさを分かち合えました。

2.生活介護

感染リスクに配慮し、室内外の活動を行っています。利用者様の好みや興味、関心が持てる個別室内活動の提案、車で近くの公園に移動しての活動や、のまる周辺の散歩等を行い、体力維持に努めました。また、地域活動の一環として、リサイクル活動に取り組みました。

3.短期入所

今年度も感染症拡大等の社会情勢に応じた対応と短期入所利用を行いました。サービス利用前後の体調確認などを配慮し、受入れ日数を153日増加し、地域からの希望に応えることが出来ました。

○ 研修及び職員の取り組み

研修参加期間中の罹患症状で途中終了など、思うような研修が行えず、年度途中から少人数で複数回の方式に変更しました。また、利用者様の高齢化に伴う支援方法の見直しに必要な知識を得る為、他事業所との交流や研修が必要となります。身体障害をお持ちの方へのまた、利用者様の高齢化に伴う支援方法の見直しに必要な知識を得る為、支援を行っている、誠光園と連携し職員のスキルを高めて行きます。令和5年度は、双方の事業所でコロナウイルス感染事案があり実施が出来ませんでした。今年度も感染状況を確認しながら進めて参ります。

○ その他

・家族会の開催方法を一部変更させて頂きました。
コロナ前は毎月開催しておりましたが、コロナ渦をきっかけに開催方法を家族会と相談し、年4回の開催となりました。
名称を「のまる報告会」へ変更、4項目に分けて対応させて頂きました。
事業所連絡・家族会連絡・育成会連絡・各ユニットに分かれての家族交流の4項目で進めています。新たな取り組みとして、各ユニットごとの交流では、ユニットリーダーが顔を合わせて話す機会を設け、利用者様の様子をお伝えし、ご家族の気持ちをうかがえる貴重な時間となっており、事業所とご家族の意思疎通を図ることが出来たと思います。
令和6年度は、活動班ごとの交流機会を設けて参ります。

・福祉避難所としての機能について

のまるは、福祉避難所として、船橋市と協定を結んでおります。
災害発生時は、知的障害をお持ちの方への支援が行えるように体制を整えています。今年度は自家発電装置の点検、小型発電機の試運転、非常用備蓄品の定期交換を行いました。最近頻発する災害に対応出来るように日頃から準備と訓練を行って参ります。

1. 職員体制と人材確保(常勤換算数)*小数点2位四捨五入

	管理者	サビ管等	支援員 保育士 世話人等	派遣職員 (運転手)	看護師	調理員・栄 養士	その他 (運転手・ 事務他)	計
5年度当初								
男子常勤	1	1	15	0	1	0	1	19
男子非常勤	0	0	2	0	0	0	0	2
(常勤換算)			1.4					1.4
女子常勤	0	0	9	0	1	0	1	11
女子非常勤	0	0	6	0	0	0	0	6
(常勤換算)			3.5					3.5
計	1	1	32	0	2	0	2	38
(常勤換算)	1	1	28.9	0	2	0	2	34.9
5年度中 増減								
男子常勤			-1					-1
男子非常勤			-1					-1
(常勤換算)			-1					-1
女子常勤					-1			-1
女子非常勤			-1		1			0
(常勤換算)			-0.4		0.8			0.4
計	0	0	-3	0	0	0	0	-3
(常勤換算)	0	0	-2.4	0	-0.2	0	0	-2.6
6年度当初								
男子常勤	1	1	14	0	0	0	0	16
男子非常勤	0	0	1	0	0	0	0	1
(常勤換算)			0.4					0.4
女子常勤	0	0	12	0	0	0	1	13
女子非常勤	0	0	3	0	1	0	0	4
(常勤換算)			1.6		0.8			2.4
計	1	1	30	0	1	0	1	34
(常勤換算)	1	1	28	0	0.8	0	1	31.8

※ 非常勤職員、臨時職員、パート職員については常勤換算数を別記する

2. 施設等利用者の状況

(1) 契約者数

利用事業	入所施設	生活介護	短期入所	就労B型	グループホーム	合計
定員	35	40	7			82
5年度当初契約者数	34	38	3			75
年度内新規契約者数	2	3	17			22
年度内解約者数	1	1	0			2
年度末契約者数	35	40	20			95

(2) 利用率

利用事業	入所施設	生活介護	短期入所	就労B型	グループホーム	合計
年間延契約者数	12810	10800	73			23683
年間開所日数	365	269	365			999
年間延利用者数	12099	8637	326			21062
定員に対する利用率(%)	95%	80%	13%			88%

(3) 利用者年齢区分(令和6年3月31日現在)

年齢区分	～19	20～29	30～39	40～49	50～	合計
男子	0	2	4	11	10	27
女子	0		4	2	2	8
計	0	2	8	13	12	35
構成比率(%)	0%	6%	23%	37%	34%	100%

(4)利用者障害程度(支援)区分

区分	区分なし 1	2	3	4	5	6	計	平均区分
男子	0	0	0	1	12	14	27	5.5
女子	0	0	0	0	4	4	8	5.5
計	0	0	0	1	16	18	35	5.5
構成比率(%)	0%	0%	0%	3%	46%	51%	100%	

(5)援護市町村区分(令和6年3月31日時点)

市町村	船橋市	東庄町・銚子市・ 香取市・旭市	県内地	県外	合計
男子	23	0	3	1	27
女子	7	0	1	0	8
計	30	0	4	1	35
構成比率(%)	86%	0%	11%	3%	100%

3. 保護者の状況

保護者	親			兄弟姉妹	その他の 親族	その他	身よりなし	合計
	両親	父のみ	母のみ					
男子利用者	10	3	7	4	2	0	1	27
女子利用者	1	1	3	2	1	0	0	8
計	11	4	10	6	3	0	1	35

4. 職員研修について

(ア) 法人及び事業所内研修

研修会名	対象者	実施日	内容
虐待防止研修	支援員	5/1.3.6/11	虐待に至る要因分析と対策
感染症予防研修	支援員	8/26.31.9/8.29	感染経路について、手洗い・ガウンの着脱
常勤支援職員研修会	支援員	9月26日	アサーション研修
虐待防止全体研修	全職員	11月25日	虐待・身体拘束防止について
BCP感染症対策研修・訓練	支援員	3月5日	BCPの確認・感染症発生時の備品準備と初動確認
BCP災害発生時対応研修・訓練	支援員	3月18日	BCPの確認・災害発生時の自家発電機稼働訓練
身体拘束廃止研修	支援員	3月25日	スピーチロックをなくすには「身体拘束ゼロへ」

(イ) 外部団体等主催研修への参加

主催団体名	研修会名	実施日	参加人数	備考
船橋東地区安全運転管理者協議会	安全運転管理者協議会総会	7/6	1	
千葉県健康福祉部障害福祉事業課	サービス管理責任者実践研修	5/12 7/25.26	1	
NPO法人 船橋こころの福祉協会	地域移行支援の実際	9/8	1	
千葉県健康福祉部障害福祉事業課	千葉県相談支援従事者初任者研修	7/14.8/7.8 10/17.18	2	
千葉県社会福祉協議会	ハラスメント対策研修	10/24	1	
船橋福祉相談協議会	皆 地域で暮らさてる	12/18	1	

5. 事故の発生について * 報告事項

No.	発生日月日	事故内容	今後の対応	行政への届け出	備考
1	2023年4月16日	概要/左手3cmの創傷 状況/浴室の割れたタイルを触り外傷となる。	対応/通院対応し、4針縫合 対策/金属製のグレーチングにてタイル割れが発生 樹脂素材に変更し、割れたタイルの補修を行う。	あり	
2	2023年5月10日	概要/右手の打撲 状況/就寝中、他利用者に右手を踏まれる	対応/通院対応し外傷の確認、打撲の診断 対策/窓際に面したベッド位置の変更を行う。	あり	
3	2023年7月24日	概要/体調の急変 状況/心臓病による心肺停止	対応/いつもと違う状態のため、家族連絡・救急対応 ドクターカーを要請、心肺蘇生を行うもご逝去となりました。	あり	
4	2023年7月30日	概要/行方不明 状況/所在不明の確認後に周辺捜索し発見に至る。	対応/周辺を捜索し、最終所在把握から30分経過後警察に連絡 発生から50分後に職員が本人を発見する。 対策/支援方法と職員対応の見直しを行う。	あり	

5. 事故の発生について * 報告事項

No.	発生年月日	事故内容	今後の対応	行政への届け出	備考
5	2023年9月16日	概要/警察対応 状況/送迎中、ブロック塀に車両を接触させる。	対応/ブロック塀所有者へ謝罪、警察に連絡し事故処理を行う。 対策/送迎コースの見直しと危険個所の職員共有を行う。	あり	
6	2023年12月6日	概要/誤薬 状況/他利用者様の薬を服用させてしまう。	対応/家族・医療機関に連絡、指示を頂き健康観察を行う。 対策/服薬介助方法のルール変更を行う。	あり	
7	2024年1月27日	概要/コロナウイルス感染 状況/利用者7名・職員2名罹患	対応/かかりつけ医師と連携し施設内療養を行う。 対策/感染予防と健康観察の強化	あり	
8	2024年2月10日	概要/コロナウイルス感染 状況/利用者12名・職員6名罹患	対応/かかりつけ医師と連携し施設内療養を行う。 対策/感染予防と健康観察の強化	あり	
9	2024年2月22日	概要/転倒 状況/浴室・脱衣所間の金属製ドアレール部分で滑り転倒され頭部を打たれる。	対応/通院対応し頭部の外傷確認、打撲の診断 対策/歩行時の支援方法を変更。 金属製レール部分に滑り止め対応を行う。	あり	
10					

令和 5年度
社会福祉法人さざんか会
事業報告統一版

事業所名【 とらのこキッズ 】

1. 令和 5年度事業活動重点事項及び成果

○ 運営面に関して

1. 療育支援(発達支援)の基本

- ・ 令和5年度においては、3名の新卒者を迎えました。

療育支援(発達支援)の基本は、まず自らの役割の理解から始まります。

私たちの仕事は神経発達障害を持つ子どもへの発達支援を促すことにあり、そのプロセスは「あそび」と「生活」を通して実施します。

子ども自身は、毎日の通園の目的を「あそび」としています。「あそび」は物理的な安全と安心できる環境(人を含める)で営まれなくてはなりません。

その活動の中で職員は子どもの「自尊心/自己肯定感を育む」という療育支援(発達支援)上での非常に重要なポイントに向き合うこととなります。

目に見える「できる」「できない」にどうしても大人は目が向きます。

療育支援の基本は「古くて新しい」 職員の課題と言えます。

2. 療育支援への職員の基本姿勢

- ・ 上記と同様に職員の子どもに向き合う姿勢は子どもの療育支援(発達支援)に大きく影響します。

児童発達支援管理責任者からの指導を下に、「子ども達の療育支援(発達支援)を複数の職員で話し合い、意見を交換し、個別支援計画書案の作成を行います。個別支援計画書案の作成プロセスにはアセスメントは欠かせません。4月の利用開始前に保護者面談(聞き取り)、ご自宅での様子等をお聞きし、この作業をアセスメントとして利用当初のプランを作成しました。

(モニタリング期間は3か月)。その後2か月の間に改めて保護者面談を行い、園生活が始まったばかりの子どもの様子を伺い、再度アセスメント行って、個別支援計画書案の目標を設定します。

しかし、毎年のことながら、この2か月間の職員の業務は多忙を極めます。次年度以降の検討課題にしたいと思います。

○ 研修及び職員の取り組み

・非常災害計画と同BCP(事業継続計画)策定

今後は定期的に中身を見直し、災害時(主に地震を想定しています。)にスムーズな対応ができるように準備していきます。

・外部研修

今年度も参加した研修は、リモートや動画配信での参加が多く、外部研修に出向くことはあまり出来ませんでした。

・新型コロナウイルス感染症等への予防対策

5月初旬に5類に移行した新型コロナウイルスですが、その後も児童の風邪症状と思われる感染症が続きました。

園内での感染症対策は少しずつ緩和させていますが、感染症対策については継続し対応を行っています。

1. 職員体制と人材確保(常勤換算数)*小数点2位四捨五入

	管理者	サビ管等	支援員 保育士 世話人等	派遣職員 (運転手)	看護師	調理員・栄 養士	その他 (運転手・事 務他)	計
5年度当初								
男子常勤	1 (兼務)							1 (兼務)
男子非常勤				2				2
(常勤換算)				業務委託				0
女子常勤		1	13				1	15
女子非常勤			6		1	2	2	11
(常勤換算)			3.9		0.3	業務委託	0.32	4.52
計	1	1	19	2	1	2	3	29
(常勤換算)			16.9	業務委託	0.3	業務委託	1.32	20.52
5年度中 増減								
男子常勤								0
男子非常勤								0
(常勤換算)								0
女子常勤			-2 産休育休					-2
女子非常勤			-1.0 +1.0				-2.0 +2.0	0
(常勤換算)			0				0.02	0.02
計	0	0	-2	0	0	0	0	-2
(常勤換算)	0	0	-2	0	0	0	0.02	-1.98
6年度当初								
男子常勤	1 (兼務)							1 (兼務)
男子非常勤				2				2
(常勤換算)				業務委託				0
女子常勤		1	15				1	17
女子非常勤			4		1	2	2	9
(常勤換算)			2.1		0.3	業務委託	0.3	2.7
計	1	1	19	2	1	2	3	29
(常勤換算)	1	1	17.1	業務委託	0.3	業務委託	1.3	20.7

※ 非常勤職員、臨時職員、パート職員については常勤換算数を別記する

2. 施設等利用者の状況

(1) 契約者数

利用事業	入所施設	生活介護	児童発達	就労B型	グループホーム	合計
定員			30			30
5年度当初契約者数			33			33
年度内新規契約者数			5			5
年度内解約者数			1			1
年度末契約者数			36			36

(2) 利用率

利用事業	入所施設	生活介護	児童発達	就労B型	グループホーム	合計
年間延契約者数			7500			7500
年間開所日数			250			250
年間延利用者数			7,342			7,342
定員に対する利用率(%)			98%			98%

(3) 利用者年齢区分(令和6年3月31日現在)

年齢区分	～19	20～29	30～39	40～49	50～	合計
男子	26					26
女子	10					10
計	36	0	0	0	0	36
構成比率(%)	100%	0%	0%	0%	0%	100%

(4)利用者障害程度(支援)区分

区分	区分なし 1	2	3	4	5	6	計	平均区分
男子							0	#DIV/0!
女子							0	#DIV/0!
計	0	0	0	0	0	0	0	#DIV/0!
構成比率(%)	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	

(5)援護市町村区分(令和6年3月31日時点)

市町村	船橋市	東庄町・銚子市・ 香取市・旭市	県内地	県外	合計
男子	26				26
女子	10				10
計	36	0	0	0	36
構成比率(%)	100%	0%	0%	0%	100%

3. 保護者の状況

保護者	親			兄弟姉妹	その他の 親族	その他	身よりなし	合計
	両親	父のみ	母のみ					
男子利用者								0
女子利用者								0
計	0	0	0	0	0	0	0	0

4. 職員研修について

(ア) 法人及び事業所内研修

研修会名	対象者	実施日	内容
新任支援者研修①	保育者	6月5日	チームアプローチ
2年目支援者研修①	保育者	7月20日	自己点検作業
新任支援者研修②	保育者	9月12日	同上
2年目支援者研修②	保育者	9月26日	アサーション/20のわたし(自己覚知)
法人全体研修	保育者	11月25日(土) /1月27日(土)	権利擁護/虐待防止/身体拘束適正化

(イ) 外部団体等主催研修への参加

主催団体名	研修会名	実施日	参加人数	備考
千葉県	児童発達支援管理責任者実践研修	5月12日等	1名	現地
船橋市総合教育センター	教育講演会	8月19日	1名	配信
船橋市手をつなぐ育成会	権利擁護研修(意思決定支援)	9月27日	1名	現地
船橋市こども発達相談センター	感覚統合療法入門講座	12月22日等	1名	現地

5. 事故の発生について * 報告事項

No.	発生年月日	事故内容	今後の対応	行政への届け出	備考
1	7月26日(水)	遊戯室での転倒	床敷マットの配置に留意	あり	
2	9月5日(火)	屋外プールでの転倒	保育者の立ち位置確認	あり	

令和 5年度
社会福祉法人さざんか会
事業報告統一版

事業所名【 さざんかキッズ 】

1. 令和 5年度事業活動重点事項及び成果

○ 運営面に関して

- ・ 4月は園児数60名でスタートし、6.8.9月と新入園児を迎えました。しかし、年度途中で3名の退園児が出たため、知的障害児クラスは64名でした。
- ・ 肢体不自由児クラスは年度途中で退園児が出て、利用児は1名のみで1年間過ごしました。
- ・ コロナウィルスが5類に移行し、利用率が上がることを予想していましたが、アデノウィルスなどその他の感染症に罹患する園児が多く、利用率が、80%を下回る月も多くありました。年度の後半には少しずつ園児達にも免疫がついてきたようでお休みも少しは減ってきましたが、年間通しての利用率が低く、収入が減ってしまう結果となりました。

- ・ 5類移行を受けて、行事での保護者の参加人数を増やしたり、日中の活動内容を見直すことが出来たため、園児の遊びに幅ができました。

職員が園児の介助をしながら、一緒に給食を食べることに取り組むことはできましたが、コロナ前の降園時間に戻すことはできませんでした。

- ・ 常勤職員2名が休職、非常勤職員も体調不良による時短勤務などで、職員が足りない時期もありましたが、配置上の問題はありませんでした。しかし、皆が健康で揃うということが難しい1年でした。

○ 研修及び職員の取り組み

- ・ 法人での1年目研修2回 2年目研修2回実施
- ・ 摂食研修では今年度も日本歯科大学から児玉先生を年4回呼びし、摂食に関する直接指導と職員全体研修を実施しました。特に職員全体研修では、肢体不自由児ではなく、普通に食事がとれている園児の咀嚼や丸呑みをビデオ撮影し、その危険性を改めて確認できました。
 - ・ 療育研修として、淑徳大学池畑先生を3年ぶりにお呼びして、実施することができました。
 - ・ 法人の虐待研修は、全体研修と、児童施設に特化した研修とで2回取り組むことができました。
 - ・ 外部研修として、他事業所への見学研修や、療育支援課主催の感覚統合の研修に参加でき、コロナ以前に戻って研修に参加できて良かったです。

○ その他

- ・ 寄付金で、わんぱくルーム倉庫に棚を設置しました。
上部空間を有効に活用することができ、遊具も取り出しやすくなりました。
- ・ 開園してから9年が経ち、建物や備品、バスなど、経年劣化による修繕や備品の交換などが多くなり、確認しながら対応しています。
 - ⇒建物: 壁紙のひび割れ、扉の戸車、サムターンロックの交換など
 - ⇒備品: 小型トランポリン、食器(着色汚れあり)など
 - ⇒バス: 座面裏側のひび割れ、内部側面の安全防具の破損、出入り口の衝立破損など
特にバスの衝立の破損では、修繕までに時間が掛かり、園児がその破損部分に足をひっかけて傷になってしまったこともあったので、今後は、早め早めで対応していきます。
- ・ 令和6年度に向けて、何とか肢体不自由児の利用児を増やすためにクラス担任と協議を重ねてきましたが、療育体制や送迎など深い部分での内容検討ができなかったことが、大きな反省点です。

1. 職員体制と人材確保(常勤換算数)*小数点2位四捨五入

	管理者	サビ管等	支援員 保育士 世話人等	派遣職員 (運転手)	看護師・専 門職	調理員・栄 養士	その他 (運転手・ 事務他)	計
5年度当初								
男子常勤					1			1
男子非常勤				3				3
(常勤換算)				1.5				1.5
女子常勤	1	4	21		1		1	28
女子非常勤			8		2	1		11
(常勤換算)			4.4		0.9	1		6.3
計	1	4	29	3	4	1	1	43
(常勤換算)			25.4	1.5	2.9	1	1	36.8
5年度中 増減								
男子常勤				-1				-1
男子非常勤								0
(常勤換算)								0
女子常勤			-2					-2
女子非常勤			1					1
(常勤換算)			1					1
計	0	0	-1	-1	0	0	0	-2
(常勤換算)	0	0	-1	-1	0	0	0	-2
6年度当初								
男子常勤								0
男子非常勤				3	1			4
(常勤換算)				1.5	0.1			1.6
女子常勤	1	4	19		1		1	26
女子非常勤			7		2	1		10
(常勤換算)			4.2		0.9	1		6.1
計	1	4	26	3	4	1	1	40
(常勤換算)	1	4	23.2	1.5	2	1	1	33.7

※ 非常勤職員、臨時職員、パート職員については常勤換算数を別記する

2. 施設等利用者の状況

(1) 契約者数

利用事業	入所施設	生活介護	児童発達	就労B型	グループホーム	合計
定員			80			80
5年度当初契約者数			60			60
年度内新規契約者数			9			9
年度内解約者数			4			4
年度末契約者数			65			65

(2) 利用率

利用事業	入所施設	生活介護	児童発達	就労B型	グループホーム	合計
年間延契約者数			19930			19930
年間開所日数			250			250
年間延利用者数			12913			12913
定員に対する利用率(%)			65%			65%

(3) 利用者年齢区分(令和6年3月31日現在)

年齢区分	～19	20～29	30～39	40～49	50～	合計
男子	51					51
女子	14					14
計	65	0	0	0	0	65
構成比率(%)	100%	0%	0%	0%	0%	100%

(4)利用者障害程度(支援)区分

区分	区分なし 1	2	3	4	5	6	計	平均区分
男子							0	#DIV/0!
女子							0	#DIV/0!
計	0	0	0	0	0	0	0	#DIV/0!
構成比率(%)	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	

(5)援護市町村区分(令和6年3月31日時点)

市町村	船橋市	東庄町・銚子市・ 香取市・旭市	県内地	県外	合計
男子	51				51
女子	14				14
計	65	0	0	0	65
構成比率(%)	100%	0%	0%	0%	100%

3. 保護者の状況

保護者	親			兄弟姉妹	その他の 親族	その他	身よりなし	合計
	両親	父のみ	母のみ					
男子利用者	49	0	2					51
女子利用者	14	0	0					14
計	63	0	2	0	0	0	0	65

4・ 職員研修について

(ア) 法人及び事業所内研修

研修会名	対象者	実施日	内容
第1回新人研修	新任職員	6月5日	自己の振り返り
第1回2年目研修	2年目職員	7月20日	自己の振り返り
職員研修	全職員	9月19日	療育の基本的な考え方
職員研修	全職員	9月26日	摂食指導
法人合同研修	全職員	11月25日	虐待研修とデスカッション
法人研修児童	全職員	1月27日	虐待研修
第1回新人研修	新任職員	9月12日	自己の振り返り
第2回2年目研修	2年目職員	9月26日	自己の振り返り

(イ) 外部団体等主催研修への参加

主催団体名	研修会名	実施日	参加人数	備考
千葉リハビリテーション病院	愛育園リハビリ研修	5月31日	2	
スマイルぱらす	施設見学研修	6月27日	4	
県立特別支援学校夏見台校舎	医療ケアの教育的効果	8月22日	1	
西マザーズホーム	施設見学研修	9月6日	2	
療育支援課	意思を確認することの大切さ	9月27日	1	
療育支援課	感覚統合入門	10月20日	1	
療育支援課	感覚統合入門	11月10日	1	
療育支援課	感覚統合入門	12月22日	1	

5・ 事故の発生について * 報告事項

No.	発生年月日	事故内容	今後の対応	行政への届け出	備考
1	R5.4.14	2階テラスでクラス活動の中でマラソンをしていた児がつまづいて転び、コンクリートの台座に額をぶつける	コンクリートの台座に事故防止のためのクッション材を張り付ける 活動の際の職員配置を再確認する	有	
2	R5.5.15	朝バス乗車を拒んでいた時を保育士1人で抱えて乗車させるが、翌日わきの下辺りにアザが見つかる	無理な時は保育士1人で対応せずに 応援を求めて数名で対応する	有	
3	R5.9.27	机の下に潜り込んだ児が反対側から頭を出した際に歩いていた他児に頭を踏まれる	安全を優先した環境設定を行なう 動きの大きい児にはマンツーマンで対応する	有	
4	R6.1.10	運動遊び中、テンションが上がった児が、壁に激突。額に腫れと内出血	安全に配慮した運動遊びの設定をしていく 園児の状況を職員間で確認しあっていく	有	

令和 5年度
社会福祉法人さざんか会
事業報告統一版

事業所名【 笹川なずな工房 】

1. 令和 5年度事業活動重点事項及び成果

○ 運営面に関して

令和5年度 生活介護班 13名、就労継続支援B型 22名 計35名でスタートしました。

年度途中から、車での自主通園をご希望の利用者さんが1名が入所しました。施設にとっても初の試みの為、行政と相談しながら進めましたが、継続は難しいようです。

コロナ禍4年目に突入した通所利用は、5月はじめ五類へ移行となりましたが感染対策の継続を生活の基本としてきました。

① 衛生管理・感染予防について

5類移行後、9月末までは抗原検査を行い、安心して職務に就ける環境づくりを行いました。

北総育成園にて開催の衛生講習会に参加し、最新の情報を職員で共有しました。感染者が出ても施設内で広がらなかったのは、会議にて検討し、作成したマニュアルで適切な感染対策の実践が行われたからだと言えます。

② 人材確保と育成

年度途中で1名が退職しましたが、9月に1名採用することが出来ました。新しい環境の中で、覚えることも多くある中、意欲的に携わってくれています。これからも、連絡相談・情報を職員間で共有し、安心して支援が出来るように、したいと思います。

③ 生産活動

令和5年はコロナ禍から少しずつ脱し、注文販売形式を継続しながらスタート。千葉の素材を使った製品をサービスエリア売店に置きたいとのプロジェクトに当施設のジャムが選ばれ12月より海ほたるパーキング内 パン屋さんにて販売が開始しました。千葉市内紅茶専門店からはイチゴジャムが販売開始されました。県主催 農福連携販売会では 地元東庄の素材をふんだんに使ったかぼちゃのスイーツ、米粉のシフォンケーキが大人気で、千葉駅コンコース販売での手ごたえをつかめました。

秋には町、市主催の全イベントが開催され出店。保護者の皆さんの販売員協力を得て大盛況でした。

年明けはいちご農家さんのジャム、焼き菓子の注文が量産体制となり、同時にイチゴ収穫と 忙しい作業が続きました。

生き生きと自分の役割に精を出して、利用者の皆さんが、頑張っています。

④ 施設整備

- ・業務用エアコン洗浄を早期に実施 館内メンテナンス箇所の点検
 - ・作業用軽トラック 現行車両経年劣化 車検満了に伴い 新規購入
 - ・ブルーベリー追加植栽 計150本の手入れ 等を実施
- 今後も 安全管理を第一に定期的なメンテナンス、補修に努めていく。

○ 研修及び職員の取り組み

衛生講習 6/14北総育成園

新型コロナウイルス5類移行となつての注意点の講習

参加職員から職員全体へ周知研修会開催

法人施設研修7/8 けいよう ゆたか福祉苑 のまる 見学会

法人施設研修9月～11月北総育成園職員見学

北総育成園から6月～11月来訪

権利擁護研修 虐待防止・身体拘束について 全体共有 実施

社会福祉施設における防災対策講座 9/6

千葉県社会就労センター協議会11/24

SSTを使った職員としての心構え研修

定例会 5/15 7/7 9/2 11/7 1/12 3/8

千葉県知的障害者福祉協会

生産活動・就労支援部会 6/16 10/13 12/8

災害対策委員会 6/26 11/15 3/26

施設長研修 3/12・13

強度行動障害支援者養成基礎研修 修了 9/1

サービス管理責任者更新研修 9/29

社会福祉施設における感染症対策研修会 10/31

障害者虐待防止・権利擁護研修 R6 2/27 29

○ その他

- ・自然と季節を感じる作業の毎日 利用者支援に励んで
頂ける職員仲間が変わりなく業務遂行してくれています。
- ・権利擁護・虐待防止研修の充実を図って情報の共有。
- ・DWAT研修、衛生管理研修、虐待防止研修、安全運転管理者での情報共有し講習での情報を共有し理解を深め努めました。
- ・北総育成園主催 衛生講習会 研修に参加
続くコロナ禍の正しい 感染対策を学ぶ場から職員へ伝達
- ・夏には はずな工房夏祭り、冬の縁日とスポーツ、年度末ご苦労様会
キッチンカー昼食を取り入れました。
- ・常に何をやるにもコロナ禍である中、今出来ること、進めることを職員
全体で考え実践。
力を発揮していく為に 情報の共有、発信伝達、担当役割の明確な取り
組みを大切に 全体で取り組んできました。

1. 職員体制と人材確保(常勤換算数)*小数点2位四捨五入

	管理者	サビ管等	支援員 保育士 世話人等	派遣職員 (運転手)	看護師	調理員・栄 養士	その他 (運転手・ 事務他)	計
5年度当初								
男子常勤			2					2
男子非常勤			1					1
(常勤換算)			0.6					0.6
女子常勤	1(サビ管 兼務)		2				1	4
女子非常勤			6		1	1		8
(常勤換算)			2.6		0.2	0.5		3.3
計	1(サビ管 兼務)	0	11	0	1	1	1	15
(常勤換算)	1		7.2	0	0.2	0.5	1	9.9
5年度中 増減								
男子常勤								0
男子非常勤								0
(常勤換算)								0
女子常勤								0
女子非常勤								0
(常勤換算)								0
計	0	0	0	0	0	0	0	0
(常勤換算)	0	0	0	0	0	0	0	0
6年度当初								
男子常勤			2					2
男子非常勤			1					1
(常勤換算)			0.6					0.6
女子常勤	1(サビ管 兼務)		2				1	4
女子非常勤			6		1	1		8
(常勤換算)			2.6		0.2	0.4		3.2
計	1	0	11	0	1	1	1	15
(常勤換算)	1	0	7.2	0	0.2	0.4	1	9.8

※ 非常勤職員、臨時職員、パート職員については常勤換算数を別記する

2. 施設等利用者の状況

(1) 契約者数

利用事業	入所施設	生活介護	児童発達	就労B型	グループホーム	合計
定員		15		20		35
5年度当初契約者数		13		22		35
年度内新規契約者数		0		1		1
年度内解約者数		0		2		2
年度末契約者数		13		21		34

(2) 利用率

利用事業	入所施設	生活介護	児童発達	就労B型	グループホーム	合計
年間延契約者数		4050		5400		9450
年間開所日数		270		270		540
年間延利用者数		2866		5463		8329
定員に対する利用率(%)		71%		101%		88%

(3) 利用者年齢区分(令和6年3月31日現在)

年齢区分	~19	20~29	30~39	40~49	50~	合計
男子	9	6	1	4	1	21
女子	3	7	3	0	0	13
計	12	13	4	4	1	34
構成比率(%)	35%	38%	12%	12%	3%	100%

(4)利用者障害程度(支援)区分

区分	区分なし 1	2	3	4	5	6	計	平均区分
男子	8	1	2	6	4	0	21	2.9
女子	5	0	1	4	3	0	13	3.0
計	13	1	3	10	7	0	34	2.9
構成比率(%)	38%	3%	9%	29%	21%	0%	100%	

(5)援護市町村区分(令和6年3月31日時点)

市町村	船橋市	東庄町・銚子市・ 香取市・旭市	県内地	県外	合計
男子	0	18	1	2	21
女子	0	13	0	0	13
計	0	31	1	2	34
構成比率(%)	0%	91%	3%	6%	100%

3. 保護者の状況

保護者	親			兄弟姉妹	その他の 親族	その他	身よりなし	合計
	両親	父のみ	母のみ					
男子利用者	12	0	6	2	1	0	0	21
女子利用者	10	1	1	0	1	0	0	13
計	22	1	7	2	2	0	0	34

4・ 職員研修について

(ア) 法人及び事業所内研修

研修会名	対象者	実施日	内容
衛生講習会	全職員	6月14日	北総育成園主催千葉県こども病院感染管理特定認定看護師前田看護師講習
工賃査定会議	常勤職員	毎月第二週 土曜日	作業の様子 工賃査定会議 モニタリング 会議
北総育成園見学研修	全職員	7月～11月	北総育成園施設見学と利用者さんの作業、暮らしの様子から 支援を学ぶ
法人事業所見学研修	常勤職員	7月8日	けいよう・ゆたか福祉苑・のまる 見学研修
虐待防止研修	全職員	9/9. 12/9	虐待防止研修・身体拘束とは デスカッションで意見を深める

(イ) 外部団体等主催研修への参加

主催団体名	研修会名	実施日	参加人数	備考
千葉県精神障害者自律支援事業協会	サービス管理責任者更新研修	9月20日	1	会場
千葉県香取保健所	社会福祉施設における感染症対策研修	10月31日	1	会場
千葉県社会就労福祉センター協議会	SSTを使ってみんな元気になるやり方を学ぶ	11月24日	2	会場
香取広域自立支援協議会	権利擁護セミナー	12月7日	1	会場
千葉県健康福祉部障害福祉事業課	権利擁護・虐待防止研修	2/27・29	2	会場
生活サポート千葉	強度行動障害支援者養成研修	8月29日	1	会場

5・ 事故の発生について * 報告事項

No.	発生年月日	事故内容	今後の対応	行政への届け出	備考

令和 5年度
社会福祉法人さざんか会
事業報告統一版

事業所名【 カメリアハウス 】

1. 令和 5年度事業活動重点事項及び成果

○ 運営面に関して

・コロナ禍後の活動展開

5月より、新型コロナウイルスが5類へと移行となりましたが、以前のような外出イベントは控え、定期的にテイクアウトランチイベントを行いました。年度後半には小グループでの外食やお茶会も少しずつ再開し始めました。今後もマスクの着用、検温等の基本的対策を取りつつ活動の幅を広げていけたらと考えます。

・就労継続支援B型事業

材料費、光熱費高騰のためパウンドケーキの価格を見直し、賞味期限の再検査を行い3週間に変更となりました。
ポスティング作業が好調で、利用者さんの工賃の維持を図ることが出来ました。

○ 研修及び職員の取り組み

- ・ 強度行動障害支援者研修の参加など、多くの外部研修に参加することが出来ました。
- ・ 研修で得た権利擁護に関する情報を職員間で周知しました。

○ その他

- ・ 自主通所されている利用者さんが通所時にトラブルとなり、通所の方法を検討し、実施しましたが、ご家族の転居により途中で退所となりました。
- ・ 利用者さんの生活環境の変化等を踏まえて、ご家族・相談支援員と連携し、GHへの転居等、利用者さんの生活の安定を図りました。
- ・ 送迎車、送迎ルートの変更等を図ることで送迎に関するニーズに対して柔軟に対応してきました。

1. 職員体制と人材確保(常勤換算数)*小数点2位四捨五入

	管理者	サビ管等	支援員 保育士 世話人等	派遣職員 (運転手)	看護師	調理員・栄 養士	その他 (運転手・ 事務他)	計
5年度当初								
男子常勤	1(サビ管 兼務)		3					4
男子非常勤			2					2
(常勤換算)			1.1					1.1
女子常勤			5					5
女子非常勤			5		1		1	7
(常勤換算)			2.9		0.3		1	4.2
計	1(サビ管 兼務)		15	0	1	0	1	18
(常勤換算)	1		12	0	0.3	0	1	14.3
5年度中 増減								
男子常勤								0
男子非常勤							1	1
(常勤換算)			0.2				0.4	0.6
女子常勤			-1					-1
女子非常勤			1					1
(常勤換算)			0.5					0.5
計	0	0	0	0	0	0	1	1
(常勤換算)	0	0	-0.3	0	0	0	0.4	0.1
6年度当初								
男子常勤	1(サビ管 兼務)		3					4
男子非常勤			2				1	3
(常勤換算)			1.3				0.3	1.6
女子常勤			4					4
女子非常勤			6		1		1	8
(常勤換算)			3.4		0.3		1	4.7
計	1(サビ管 兼務)	0	15	0	1	0	2	19
(常勤換算)	1		11.7	0	0.3	0	1.3	14.3

※ 非常勤職員、臨時職員、パート職員については常勤換算数を別記する

2. 施設等利用者の状況

(1) 契約者数

利用事業	入所施設	生活介護	児童発達	就労B型	グループホーム	合計
定員		28		12		40
5年度当初契約者数		38		15		53
年度内新規契約者数						0
年度内解約者数		2		1		3
年度末契約者数		36		14		50

(2) 利用率

利用事業	入所施設	生活介護	児童発達	就労B型	グループホーム	合計
年間延契約者数		7,000		3,000		10,000
年間開所日数		250		250		250
年間延利用者数		7,949		3,066		11,015
定員に対する利用率(%)		114%		102%		110%

(3) 利用者年齢区分(令和6年3月31日現在)

年齢区分	～19	20～29	30～39	40～49	50～	合計
男子		14	7	9	6	36
女子		3	2	3	6	14
計	0	17	9	12	12	50
構成比率(%)	0%	34%	18%	24%	24%	100%

(4)利用者障害程度(支援)区分

区分	区分なし 1	2	3	4	5	6	計	平均区分
男子	1	2	5	6	17	5	36	4.4
女子	2	2	3	3	2	2	14	3.5
計	3	4	8	9	19	7	50	4.2
構成比率(%)	6%	8%	16%	18%	38%	14%	100%	

(5)援護市町村区分(令和6年3月31日時点)

市町村	船橋市	東庄町・銚子市・ 香取市・旭市	県内地	県外	合計
男子	32		4		36
女子	11		3		14
計	43	0	7	0	50
構成比率(%)	86%	0%	14%	0%	100%

3. 保護者の状況

保護者	親			兄弟姉妹	その他の 親族	その他	身よりなし	合計
	両親	父のみ	母のみ					
男子利用者	25	3	7	1				36
女子利用者	6	2		5	1			14
計	31	5	7	6	1	0	0	50

4・ 職員研修について

(ア) 法人及び事業所内研修

研修会名	対象者	実施日	内容
法人新任研修	1名	6/5	新任研修
虐待防止研修	7名	11/25	社会福祉法人FLAT林晃弘氏講演

(イ) 外部団体等主催研修への参加

主催団体名	研修会名	実施日	参加人数	備考
千葉県社会福祉協議会	介護職のための接遇マナー研修	4/19	1名	
千葉県社会福祉協議会	新人職員福祉入門講座	5/11	1名	
船橋市障害福祉連絡協議会	福祉避難所研修	6/30	1名	
千葉県知的障害者福祉協会	日中活動支援部会定例会	7/4	1名	
千葉県社会福祉協議会	障害者支援者スキルアップ研修	10/26	1名	
日本知的障害者福祉協会	全国知的障害関係施設長会議	7/13, 14	1名	
NPO法人生活サポート千葉	強度行動障害支援者養成研修(基礎)	8/29, 9/15	1名	
千葉県運営適正化委員会	福祉サービス苦情解決研修会	11/27	1名	
千葉県健康福祉部障害福祉事業課	サービス管理責任者基礎研修	12/1, 4	1名	
NPO法人生活サポート千葉	強度行動障害支援者養成研修(実践)	2/20, 21	1名	
船橋市	福祉避難所研修	2/27	1名	
船橋市障がい者地域福祉連絡会	あらためて、対面での支援を考える	3/1	1名	

5・ 事故の発生について * 報告事項

No.	発生日月	事故内容	今後の対応	行政への届け出	備考
1	5月22日	公園で散歩の際、暑さにいらついた利用者が来園者を叩いてしまう	集団での外出を控え外では1対1の対応	無	
2	6月22日	誤って2つ開封してしまった薬をゴミ箱から拾い二重服薬してしまう	薬の管理場所の徹底	無	
3	11月10日	利用者同士の諍い、太ももを蹴り打撲の診断	活動スペースの分離	有	
4	1月24日	新型コロナウイルス利用者9名相次いで感染	予防対策の継続	有	
5	1月24日	公園での散歩中に縁石に足を取られ転倒、顎辺りを裂傷	周囲の安全管理に努める	有	

令和 5年度
社会福祉法人さざんか会
事業報告統一版

事業所名【 DDホームズ 】

1. 令和 5年度事業活動重点事項及び成果

○ 運営面に関して

今年度は31名でスタートしましたが、ご家族の意向やご本人が介護に移行することになり、年度途中で3名が退所しました。その後、体験を経て5名が入居し、年度末は33名となり、現在1部屋が空室です。

今年度は特に入退去の動きがあり、安定した定員数の確保とはなりませんでした。

またコロナの影響も残り6月には2名が、1月には3名が感染してホームを閉めたこともあり、減収等で厳しい状況となっています。

次年度においては体制を考慮した形でのホームの再編も視野に検討を重ね、運営面での課題への解決を目標とします。

(1)支援のあり方

一人ひとりの意思が尊重され「自分らしく生きる」ことや、目の前の障害あるご本人の思いに寄り添い「その人らしい暮らし」をつくることを視点とする、支援のあり方を実践してきました。

また、個々の特性や状況を把握し、個別支援計画で具体的なことを記述しその都度立ち返り、検証することにも努めてきました。

(2)健康、安全面について

利用者の加齢に伴い、日々の介護度も高くなり、ケガ等の報告もありました。日々の健康面も含めて、職員間で情報共有し、支援を行っています。

(3)防災と設備について

災害時に備え消防計画に基づき、年2回の避難訓練の実施やBCPを作成しホームに掲示しています。

○ 研修及び職員の取り組み

講師を招いた虐待防止の法人全体研修や虐待防止の外部研修(千葉市)の参加、オンラインによる新人職員への基礎講座の受講など、障害者支援について再認識のよい機会になったと思います。

今後もこのような講座を活用し、日々の実践に活かしていければと考えます。

○ その他

・職員体制について

以前よりご家族から利用日数を「増やして欲しい」との要望があり、週末お帰りになる利用者さんのホームの宿泊回数を増やせるように土曜送迎を開始しましたが、職員体制が整わず毎週とはいきません。24時間365日を希望されているご家族もあり、その要望に応えるためにも職員の継続募集を行っていきます。

1. 職員体制と人材確保(常勤換算数)*小数点2位四捨五入

	管理者	サビ管等	支援員 保育士 世話人等	派遣職員 (運転手)	看護師	調理員・栄 養士	その他 (運転手・ 事務他)	計
5年度当初								
男子常勤	1	1	7	0	0	0	0	9
男子非常勤	0	0	7	0	0	0	0	7
(常勤換算)			5.7					5.7
女子常勤	0	0	0	0	0	0	0	0
女子非常勤	0	0	9	0	0	0	2	11
(常勤換算)			3.9				1.4	5.3
計	1	1	23	0	0	0	2	27
(常勤換算)			16.6	0	0	0	1.4	20
5年度中 増減								
男子常勤								0
男子非常勤			1					1
(常勤換算)			0.4					0.4
女子常勤								0
女子非常勤								0
(常勤換算)								0
計	0	0	1	0	0	0	0	1
(常勤換算)	0	0	0.4	0	0	0	0	0.4
6年度当初								
男子常勤	1(サビ管 兼務)	1	7	0	0	0	0	9
男子非常勤	0	0	7	0	0	0	0	7
(常勤換算)			5.1					5.1
女子常勤	0	0	0	0	0	0	0	0
女子非常勤	0	0	9	0	0	0	2	11
(常勤換算)			3.9				1.4	5.3
計	1(サビ管 兼務)	1	23	0	0	0	2	27
(常勤換算)	1	1	16	0	0	0	1.4	19.4

※ 非常勤職員、臨時職員、パート職員については常勤換算数を別記する

2. 施設等利用者の状況

(1) 契約者数

利用事業	入所施設	生活介護	児童発達	就労B型	グループホーム	合計
定員					34	34
5年度当初契約者数					31	31
年度内新規契約者数					5	5
年度内解約者数					3	3
年度末契約者数					33	33

(2) 利用率

利用事業	入所施設	生活介護	児童発達	就労B型	グループホーム	合計
年間延契約者数					12444	12444
年間開所日数					366	366
年間延利用者数					9871	9871
定員に対する利用率(%)					79%	79%

(3) 利用者年齢区分(令和6年3月31日現在)

年齢区分	~19	20~29	30~39	40~49	50~	合計
男子		3	3	8	19	33
女子						0
計	0	3	3	8	19	33
構成比率(%)	0%	9%	9%	24%	58%	100%

(4)利用者障害程度(支援)区分

区分	区分なし 1	2	3	4	5	6	計	平均区分
男子	2	5	3	6	10	7	33	4.2
女子	0	0	0	0	0	0	0	#DIV/0!
計	2	5	3	6	10	7	33	4.2
構成比率(%)	6%	15%	9%	18%	30%	21%	100%	

(5)援護市町村区分(令和6年3月31日時点)

市町村	船橋市	東庄町・銚子市・ 香取市・旭市	県内地	県外	合計
男子	31		2		33
女子					0
計	31	0	2	0	33
構成比率(%)	94%	0%	6%	0%	100%

3. 保護者の状況

保護者	親			兄弟姉妹	その他の 親族	その他	身よりなし	合計
	両親	父のみ	母のみ					
男子利用者	13	1	8	7	1		3	33
女子利用者								0
計	13	1	8	7	1	0	3	33

4・ 職員研修について

(ア) 法人及び事業所内研修

研修会名	対象者	実施日	内容
虐待防止研修	支援職	11月25日	虐待・身体拘束防止について
虐待防止研修	支援職	1月27日	虐待・身体拘束防止について

(イ) 外部団体等主催研修への参加

主催団体名	研修会名	実施日	参加人数	備考
千葉県知的障害者福祉協会	強度行動障害者支援者基礎研修	12/1, 5	1	
千葉県知的障害者福祉協会	強度行動障害者支援者実践研修	2/20,21	1	
日本知的障害者福祉協会	知的障害を理解するための基礎講座	通信教育	3	
千葉県知的障害者福祉協会	生活支援員・世話人対象研修会	9月7日	3	

5・ 事故の発生について * 報告事項

No.	発生日月日	事故内容	今後の対応	行政への届け出	備考
1	2023/9/6	自室で転倒。右目上部に出血。縫合を行う。	見守りの強化	有	
2	2023/10/18	階段から転倒。左足中指出血・骨折。縫合を行う。	職員が先に降りて転倒防止に努める	有	

令和 5年度
社会福祉法人さざんか会
事業報告統一版

事業所名【 のまのまホームズ 】

1. 令和 5年度事業活動重点事項及び成果

○ 運営面に関して

1. 健康管理と感染予防対策

5月初旬からの医療制度面での取り扱いが緩和された新型コロナウイルス感染症への対策ですが、ホーム内では引き続き継続しています。

しかしながらホームによっては、感染性胃腸炎で入居者の方が体調を崩されることもありました。入居者お一人おひとりの日頃からの体調管理は入居者支援の基盤となりますので、今後も社会生活上の流感の情報を欠かさず、その対策を講じていきたいと思えます

2. 勤務体制の見直し

利用者様の状況を職員間で共有し、勤務時間や勤務体制についての会議を行っています。

3. 非常災害対策 ・昨年度に非常災害計画と事業継続計画を策定しました。職員へ周知しています。

○ 研修及び職員の取り組み

- ・法人内での虐待防止研修への参加。
- ・健康管理面での研修の実施。
- ・法人内委員会の「サービス向上委員会」への参加委員を増やし、「ようこそ、さざんか会」への周知を改めて実施しました。

○ その他

・定員数の変更

サテライト利用者様の支給決定期間終了に伴い、ご家族との話し合いの結果他事業所の運営するグループホームへ移動となりました。それに伴い、サテライトを廃止し、次年度の定員数が31名から30名に変更となりました。

・ 人材不足による職位確保が難しい状況はのまのまホームズだけではなく、法人全体の課題となっています。

入職後の研修や業務の振り返りを行いました。今後も効果的な手立てを図ることが必要かと思えます。

1. 職員体制と人材確保(常勤換算数)*小数点2位四捨五入

	管理者	サビ管等	支援員 保育士 世話人等	派遣職員 (運転手)	看護師	調理員・栄 養士	その他 (運転手・ 事務他)	計
5年度当初								
男子常勤	1	1	5					7
男子非常勤			3					3
(常勤換算)			1.5					1.5
女子常勤		1	3					4
女子非常勤			9				1	10
(常勤換算)			3.9				0.9	4.8
計	1	2	20	0	0	0	1	24
(常勤換算)			13.4	0	0	0	0.9	17.3
5年度中 増減								
男子常勤								0
男子非常勤			-1					-1
(常勤換算)			-0.4					-0.4
女子常勤			-1					-1
女子非常勤			4					4
(常勤換算)			3.2					3.2
計	0	0	2	0	0	0	0	2
(常勤換算)	0	0	1.8	0	0	0	0	1.8
6年度当初								
男子常勤	1	1	5					7
男子非常勤			2					2
(常勤換算)			1.1					1.1
女子常勤		1	2					3
女子非常勤			12				1	13
(常勤換算)			6.1				0.9	7
計	1	2	21	0	0	0	1	25
(常勤換算)	1	2	14.2	0	0	0	0.9	18.1

※ 非常勤職員、臨時職員、パート職員については常勤換算数を別記する

2. 施設等利用者の状況

(1) 契約者数

利用事業	入所施設	生活介護	児童発達	就労B型	グループホーム	合計
定員					31	31
5年度当初契約者数					31	31
年度内新規契約者数					0	0
年度内解約者数					3	3
年度末契約者数					29	29

(2) 利用率

利用事業	入所施設	生活介護	児童発達	就労B型	グループホーム	合計
年間延契約者数					11346	11346
年間開所日数					365	365
年間延利用者数					9463	9463
定員に対する利用率(%)					84%	84%

(3) 利用者年齢区分(令和6年3月31日現在)

年齢区分	～19	20～29	30～39	40～49	50～	合計
男子		3	2	7	6	18
女子			1	1	9	11
計	0	3	3	8	15	29
構成比率(%)	0%	10%	10%	28%	52%	100%

(4)利用者障害程度(支援)区分

区分	区分なし 1	2	3	4	5	6	計	平均区分
男子			1	5	10	3	19	4.8
女子				2	5	3	10	5.1
計	0	0	1	7	15	6	29	4.9
構成比率(%)	0%	0%	3%	24%	52%	21%	100%	

(5)援護市町村区分(令和6年3月31日時点)

市町村	船橋市	東庄町・銚子市・ 香取市・旭市	県内地	県外	合計
男子	18		1		19
女子	9		1		10
計	27	0	2	0	29
構成比率(%)	93%	0%	7%	0%	100%

3. 保護者の状況

保護者	親			兄弟姉妹	その他の親族	その他	身よりなし	合計
	両親	父のみ	母のみ					
男子利用者	9	2	2	3	2		1	19
女子利用者	2		4	4				10
計	11	2	6	7	2	0	1	29

4. 職員研修について

(ア) 法人及び事業所内研修

研修会名	対象者	実施日	内容
船橋圏内合同支援職研修会	支援スタッフ	11月25日	虐待防止全体研修
虐待防止研修	〃	1月28日	〃

(イ) 外部団体等主催研修への参加

主催団体名	研修会名	実施日	参加人数	備考
生活サポート千葉	千葉県強度行動障害支援者養成研修	8/29 11/7.10	1	
〃	〃	12/1 2/20.21	1	

5. 事故の発生について * 報告事項

No.	発生年月日	事故内容	対応と今後	行政への届け出	備考
1	7月17日	職員が見ていないときにホームより外出。ご自宅へ帰宅される。	報告書の作成後管理者と面談。関係各所への連絡と報告を行い、支援会議にて事例検討し、再発防止に努める。	あり	
2	7月29日	トイレ介助にて、ご本人の動きに合わせてられず便座に勢いよく座ってしまい、便座破損。ご本人に目立った傷なし。	トイレ利用時の座り方を検討、手すりを利用し着座するようにした。	無し	
3	8月5日	リビングに薬が落ちているのを確認。薬を目視し、利用者が判明。	服薬時は必ず職員が確認する。	無し	
4	8月23日	ホーム自室の壁に穴をあけてしまう。	心身の状態の確認を行い、気持ちが高揚しているときは、十分に気を付ける	無し	オーナー様に確認後、修繕無し
5	9月13日	歩行介助時、支えきれずご本人が額を打ってしまう。軽い痣が残る。	利用者の健康状態の確認及び介助の仕方について検討し、共有した	無し	
6	10月9日	ご本人の左足小指裏に裂傷を発見した。	左足小指側面を擦るようにして立ち上がる為、床との摩擦で傷が出来るのではと職員からの指摘有。なるべく、左足に負荷が掛からないよう介助等の工夫をおこなった	無し	
7	2月29日	原因不明の右眉付近の切り傷 ご本人の希望にて受診。二針の裂傷。	状況の確認と見守りカメラ映像で確認するが原因究明には至らず。ご本人の希望で通院。再発防止について検討した。	あり	

令和 5年度
社会福祉法人さざんか会
事業報告統一版

事業所名【 野の花 】

1. 令和5年度事業活動重点事項及び成果

○ 運営面に関して

令和5年度もコロナをけん制しながらの運営でした。

日頃から感染対策を徹底した結果、利用者さんの感染はありませんでした。

少しずつ外に出る機会を設けてきました。

5類に変わり、少しずつ外に出る機会を設け、映画や買い物など利用者さんがご自身で選ぶことのできる楽しさを徐々に味わうことが出来たと思います。ホーム内では、イベントを数多く企画しました。

一番若い利用者さんは26歳、最高齢は65歳と幅広い年齢層の方が利用しています。認知機能が低下してきた方や排せつの問題等、「古い」に対して向き合うことが増えてきました。

職員や世話人さんと会議を開き意見を交換し利用者さんが暮らしやすい環境を全員で整えてきました。

○ 研修及び職員の取り組み

令和5年度は昨年度までと異なり、対面での研修会も増えてきました。

グループホーム関連の研修も徐々にオンラインから対面形式に代わってきたと感じた1年でした。久しぶりに会う他事業所の職員の方と話す機会を得る事で自己研鑽する事が出来ました。また、他のスタッフも研修に参加する事で自分自身の仕事の点検にも繋がり、より良い支援になるよう研修に参加してきました。

施設内研修では昨年度に引き続き「虐待防止研修」「身体拘束適正化研修」を重ねてまいりました。マニュアルに沿った業務の継続、自己のやり方に偏らないように繰り返し現状の自分の仕事の見直しを含めて学ぶ機会を設けてまいりました。

○ 職員の取り組みについて

日々の利用者さんの生活を支援し、コミュニケーションを多くとる事を心がけそこから利用者さんの困っている事や希望を聞く事でより良い支援を提供してまいりました。令和5年5月8日より新型コロナも2類から5類になり外に出る機会も増えてきました。

職員も利用者さんとお出かけ、皆さんの楽しそうにしている表情を見て、「良かった」と話してくれました。

○ その他

・職員の防災意識の向上

1月1日に能登半島地震が起こり現在も被災地では避難生活を余儀なくされています。

職員も防災意識を高めていくよう、避難訓練を実施しました。次年度以降も継続してまいりたいと思います。

ここで暮らす利用者さんが主役という意識をもって、職員・世話人がやりがいのある職場になるよう、活発な意見交換を行いました。

1. 職員体制と人材確保(常勤換算数)*小数点2位四捨五入

	管理者	サビ管等	支援員 保育士 世話人等	派遣職員	看護師	調理員・栄 養士	その他 (運転手 等)	計
5年度当初	1	1	4					6
男子常勤	1	1						2
男子非常勤								0
(常勤換算)								0
女子常勤			1					1
女子非常勤			4					4
(常勤換算)			2.1					2.1
計	1	1	5	0	0	0	0	7
(常勤換算)	0.6	0.6	2.1	0	0	0	0	3.3
5年度中 増減								
男子常勤								0
男子非常勤								0
(常勤換算)								0
女子常勤								0
女子非常勤								0
(常勤換算)								0
計	0	0	0	0	0	0	0	0
(常勤換算)				0	0	0	0	
6年度当初								
男子常勤	1	1						2
男子非常勤								0
(常勤換算)								0
女子常勤			1					1
女子非常勤			5					5
(常勤換算)			2.1					2.1
計	1	1	6	0	0	0	0	8
(常勤換算)	0.6	0.6	2.1	0	0	0	0	3.3

※ 非常勤職員、臨時職員、パート職員については常勤換算数を別記する

2. 施設等利用者の状況

(1) 契約者数

利用事業	入所施設	生活介護	児童発達	就労B型	グループホーム	合計
定員					5	5
3年度当初契約者数					5	5
年度内新規契約者数					0	0
年度内解約者数					0	0
年度末契約者数					5	5

(2) 利用率

利用事業	入所施設	生活介護	児童発達	就労B型	グループホーム	合計
年間延契約者数					5	5
年間開所日数					365	365
年間延利用者数					1825	1825
定員に対する利用率(%)					100%	100%

(3) 利用者年齢区分(令和4年3月31日現在)

年齢区分	～19	20～29	30～39	40～49	50～	合計
男子		1	2		2	5
女子						0
計	0	1	2	0	2	5
構成比率(%)	0%	20%	40%	0%	40%	100%

(4)利用者障害程度(支援)区分

区分	区分なし 1	2	3	4	5	6	計	平均区分
男子	0	0	1	1	3	0	5	4.4
女子	0	0	0	0	0	0	0	#DIV/0!
計	0	0	1	1	3	0	5	4.4
構成比率(%)	0%	0%	20%	20%	60%	0%	100%	

(5)援護市町村区分(令和4年3月31日時点)

市町村	船橋市	東庄町・銚子市・ 香取市・旭市	県内地	県外	合計
男子		3	1	1	5
女子					0
計	0	3	1	1	5
構成比率(%)	0%	60%	20%	20%	100%

3. 保護者の状況

保護者	親			兄弟姉妹	その他の 親族	その他	身よりなし	合計
	両親	父のみ	母のみ					
男子利用者	1		1	2	1			5
女子利用者								0
計	1	0	1	2	1	0	0	5

4・ 職員研修について

(ア) 法人及び事業所内研修

研修会名	対象者	実施日	内容
虐待防止研修	全職員	7/15、25	県から全事業所を対象とした虐待防止研修
		12月9日	
身体拘束適正化	全職員	9月9日	事業所内で身体拘束適正化の研修を実施
虐待防止研修	職員	1月20日	法人内にて行徳を招聘し研修。オンラインにて参加

(イ) 外部団体等主催研修への参加

主催団体名	研修会名	実施日	参加人数	備考
香取保健所	感染症対策研修会	R5, 10, 31	1	対面
香取障害者支援センター	香取圏域GH設置者会議	R6, 3/1	1	対面
千葉県	第15回千葉県障害者GH大会	R6, 2, 1~29	2	リモート
香取障害者支援センター	GH連絡協議会研修会	R6, 1, 29	1	リモート
社会就労センター協議会	職員としてのこころがまえ	R5, 11, 24	2	対面

5・ 事故の発生について * 報告事項

No.	発生日月日	事故内容	今後の対応	行政への届け出	備考
	今年度事故による通院はありませんでした。				

令和 5年度
社会福祉法人さざんか会
事業報告統一版

事業所名【 さざんか相談 】

1. 令和 5年度事業活動重点事項及び成果

【 ランプ 相談 】

○ 運営面に関して

5年度の、新規契約は1名でした。問い合わせはありましたが、2名の相談支援専門員では受け入れは厳しい状況です。

ご家族の高齢化により、グループホームの入居や通院等のサービスの新規利用を希望する方が増加しており、関係機関とのやり取りも増えています。サービス利用計画書の作成やモニタリング以外での仕事が多くを占め、1人の利用者様に係る時間は増加傾向にあります。そのことも、新規の方を増やすことが出来ない要因の一つだと思います。毎年挙げていますがさざんか会としての今後の相談支援事業の在り方を検討することが必要です。

○ 研修及び職員の取り組み

FAS-net主催の研修会やいろいろの会以外の研修会には参加することができませんでした。

○ その他

5月に新型コロナウイルスの類型が変わった事で、利用者さんやご家族、関係機関の方と顔を合わせる機会が増えました。

特に重度の方のグループホームや行動援護のサービスは受け入れ先の人手不足を理由に、要望に沿ったサービスに繋がられないケースも多くなっています。

今後も相談支援専門員の横の繋がりを大切にし、情報共有をしながら利用者さんやご家族にとって、より良い支援を受けられるように努めます。

1. 令和 5年度事業活動重点事項及び成果

【 のまる 相談 】

○ 運営面に関して

取り組み

- ・相談支援利用者人数 26名
- ・サービス等利用計画書の作成、モニタリング、関係機関(家族、事業所、行政等)との連絡調整を行いました。
- ・コロナウイルス感染のリスクに配慮しながら、ご家庭・事業所に訪問し顔が見える関係へ戻して行きました。

今後の課題

- ・特にニーズの多い重度の障害を持つ方のための居宅介護、共同生活援助、短期入所、行動援護、移動支援等が必要な状況です。更なる社会資源の必要性が考えられます。多職種間の連携を行い課題を克服できるように努力いたします。

○研修及び職員の取り組み

- ・研修への参加や資格取得を目指し、支援技術の向上に努めました。
(社会福祉士・精神保健福祉士)

○その他

- ・計画相談の依頼に対し、1名の職員体制では限界があり新規の方の受入れが難しい状況です。今後の相談支援職員体制をのまるとしてどのように考えていくか引き続き検討が必要です。

1. 令和5年度事業活動重点事項及び成果

【とらのこキッズ障害児童相談支援】

○ 運営面に関して

新規契約者を1名お受けしました。

相談員の体制が、難しかった為今後検討していきます。

○ 研修及び職員の取り組み

・積極的に研修への参加ができませんでした。